

CSR基本方針

タカラレーベングループは、企業ビジョンである「幸せを考える。幸せをつくる。」を実現するとともに、住宅の供給や自然エネルギーの導入など、事業を通じたCSR活動に取り組むことで社会課題の解決とSDGs（持続可能な開発目標）達成に貢献し、さまざまなステークホルダーや社会からの信頼を得て、永続的な発展を目指します。

CSR推進体制

当社グループでは、CSR活動をグループ全体の企業価値向上に結び付けていくため、全社横断の推進体制を構築するとともに、適宜経営会議にて決議・報告を行うことで、経営・事業活動と一体になった縦断的な推進体制を構築しています。また、各グループ会社役員・CSR担当者に向けた研修を開催するとともに、実務担当者への共有やディスカッションの機会の提供を行っています。今後、従業員がCSR活動に当事者意識を持って取り組むことのできる環境づくりや重点課題の再認識を図ることで活動強化につなげ、新しい価値創造を目指していきます。

CSR重要テーマおよび重要課題特定のプロセス

当社グループでは、以下のステップを経て、CSR重要テーマおよび重要課題を特定しました。

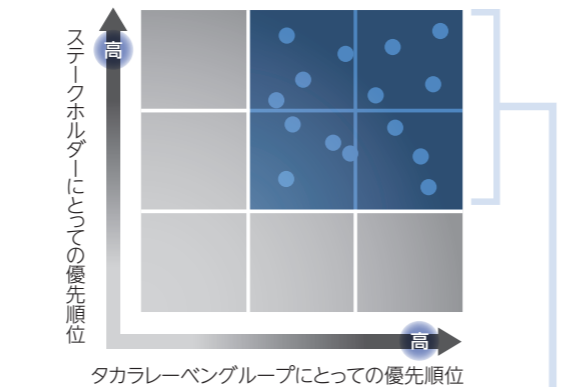
STEP 1 社会課題の把握と整理
GRI、SDGs、SASBなどの国際的ガイドラインやお客さま、株主・投資家、地域社会、従業員などステークホルダーからの要請事項や経営理念、中期経営計画などをもとに、事業環境を取り巻く31項目の課題を抽出しました。

STEP 2 タカラレーベングループの視点から重要性を評価
管理職や役員を含む従業員へのアンケート調査、経営理念や事業との関連性を整理し、優先順位付けを行いました。

STEP 3 ステークホルダーの視点から重要性を評価
お客さま、株主・投資家、取引先のアンケート調査、GRI、SDGsなど国際的ガイドラインからの要請事項を整理し優先順位付けを行いました。

STEP 4 重要課題の特定
タカラレーベングループとステークホルダーの視点で優先順位を再検討し、経営者レビューを実施した後、重要課題を特定しました。

STEP 5 CSR重要テーマの方針設定
4つのCSR重要テーマについて、方針設定を行いました。



- 特定された15の重要課題
- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1 生活の多様化・グローバル化への対応 | 8 安心・安全な製品とサービスの提供 |
| 2 少子高齢化・人口減少に伴うビジネスモデルの変化への対応 | 9 お客さま満足の上向 |
| 3 都市開発・街づくり | 10 建物価値の上向 |
| 4 コーポレート・ガバナンス体制の構築と維持 | 11 環境・文化に配慮した建物と空間の提供 |
| 5 コンプライアンスの推進 | 12 地球温暖化への対応 |
| 6 従業員の健康管理 | 13 再生可能エネルギーへの取り組み |
| 7 多様な人材の活躍推進 | 14 資源の有効活用 |
| | 15 災害への対応 |

GRESB

タカラレーベン・インフラ投資法人は、2020年度のGRESB*インフラストラクチャー評価に参加し、ファンド評価でESG情報のレポート体制や、リスク評価、ステークホルダーとの関係構築等への取り組みが認められ2年連続で「4 Star」（最高位は5 Star）と評価されました。さらにアセット評価でも、保有するインフラ資産およびそのオペレーターとしてのタカラレーベンのCSR戦略の設定や取り組みが評価され「3 Star」を取得しました。またタカラレーベン不動産投資法人は、2020年度のGRESBリアルエステイト評価で、ESGに関するマネジメントとパフォーマンスの両面で高い評価を得たことを示す「Green Star」の評価を2年連続で獲得しました。



*GRESB: Global Real Estate Sustainability Benchmark
責任投資原則(PRI)を主導した欧州の主要年金基金グループを中心に創設された、実物資産(不動産やインフラ施設など)ポートフォリオのESG(環境・社会・ガバナンス)パフォーマンスを測るベンチマークおよびその運営組織の名称。

国連グローバル・コンパクトへの署名

2020年、タカラレーベングループは国際連合が提唱する「国連グローバル・コンパクト」に署名し参加企業として登録されました。「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野からなる

国連グローバル・コンパクト10原則の実現を目指す取り組みを継続していきます。

国連グローバル・コンパクトの10原則		
人権	原則1 原則2	人権擁護の支持と尊重 人権侵害への非加担
労働	原則3 原則4 原則5 原則6	結社の自由と団体交渉権の承認 強制労働の排除 児童労働の実効的な廃止 雇用と職業の差別撤廃
環境	原則7 原則8 原則9	環境問題の予防的アプローチ 環境に対する責任のイニシアティブ 環境にやさしい技術の開発と普及
腐敗防止	原則10	強要や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗防止の取組み



CSR担当役員メッセージ

タカラレーベングループは、住まいの供給と管理を通じて、街づくりやコミュニティづくりに貢献してきました。またESGへの取り組みとして従前より、太陽光発電マンションの開発及びメガソーラー発電所の開発、運用とグリーンエネルギー分野でも事業を展開しています。近年は、深刻化する気候変動問題や新型コロナウイルス感染症の流行などにより社会や生活のあり方が大きく変化中、SDGsの浸透もあいまって、企業に求められる役割やステークホルダーからの期待も大きく、私たちは益々の変革を求められています。当社グループは前中期経営計画の中でESG対応を掲げ、重要課題の特定、当社グループのCSR重要テーマやSDGsとの紐づけ、方針の策定を進めてきました。2021年5月に発表した新中期経営計画においてもESGへの積極対応を柱の一つとしており、着実に取り組みを進めるために今年度のKPIを策定いたしました。より実効性を持った取り組みとしていくためには、従業員一人ひとりが自身の仕事の中でどのような役割を担っているか、その存在意義を自覚すること、また一方で、当社グループで働く従業員が生き生きと働ける環境づくりとより多様な価値観を持つ組織への変革が非常に重要だと考えています。今後も当社グループの企業ビジョンである「幸せを考える。幸せをつくる。」を念頭に、事業を通じて社会課題の解決に貢献し、持続的な成長につなげてまいります。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



CSR 重要テーマ	関連するSDGs	方針	重要課題	KPI	2022年3月期 目標
価値あるライフスタイルの創造 新たな価値の創造により、人々の暮らしの豊かさの向上に貢献します。	  	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会課題やニーズの変化に対応した商品・サービスの提供。 ● [LEBEN] [NEBEL] ブランドなど、居住者と周辺環境の調和したライフスタイルの提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活の多様化・グローバル化への対応 ● 少子高齢化・人口減少に伴うビジネスモデルの変化への対応 	ライフスタイルに対する新たなサービスの提案 海外での新築分譲マンション供給 NEBEL 供給	5件 3棟(2025年3月期) 3棟
コミュニティの形成 地域社会・取引先・従業員など、ステークホルダーとのコミュニティを形成し、皆さまと共に発展します。	     	<ul style="list-style-type: none"> ● 地方都市再生事業を通じた都市部と地方をつなぐ地方活性化への貢献。 ● リスク評価・管理の徹底によるリスク対応能力の向上。 ● 多様な人材が生き生きと働ける機会・環境の提供。 ● ステークホルダーとの対話を重視した、社会ニーズに応える企業活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市開発・街づくり ● コーポレート・ガバナンス体制の構築と維持 ● コンプライアンスの推進 ● 従業員の健康管理 ● 多様な人材の活躍推進 	再開発事業取り組み件数 地域社会への協賛 取締役会実効性評価の実施 コーポレート・ガバナンス体制の充実・強化 クローバック条項の導入検討 腐敗防止の教育・研修の実施 人権課題に対する役員・従業員の理解促進 不利益取り扱い発生件数 アンケートによる内部通報制度の認知率の把握 健康診断受診率 ストレスチェック受診率 有給休暇取得率 障がい者雇用率 女性管理職比率 出産・育児休暇の復職率 1人当たりの研修時間 営業スタッフアンケート満足度	2件 10件 0件 100% 100% 70% 2.30% 9.5%(2025年3月期) 100% 24時間 90%
高品質で快適な空間の提供 お客様満足度の高い商品の提供を通じて、お客様の快適で安全な生活を支えます。	  	<ul style="list-style-type: none"> ● 独自のサービス品質管理システム (SQMS[®]) 活用によるお客様満足度の向上。 ● 住まいに必要な性能を追求した、デザイン性と居住性を兼ね備えた住まいづくり。 ● 建物の快適性・機能性・安全性を向上させる定期修繕やリノベーションを通じた建物価値の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安心・安全な製品とサービスの提供 ● お客様満足度の向上 ● 建物価値の向上 	業務プロセスおよび品質基準に関する不適合件数 予防処置に関する共有会の実施 SQMS [®] マスター育成 (運営管理部門以外) 住宅性能評価書の取得率 災害度数率、休業度数率 (※対象: 従業員) 休業災害件数 (※対象: 従業員) 顧客満足度調査の実施 安全大会 特別パトロール (安全確認) 安全衛生研修の実施回数 (※対象: 従業員) サプライヤー調査の結果 災害度数率、休業度数率 (※対象: サプライヤー)	10件以下 5件以上 2名以上 100% 0% 0% Aランク取得率90% 1.83%以下
環境・文化の醸成 環境問題に積極的に取り組むことで持続可能な社会へ貢献するとともに、学問・芸術などの精神活動の機会提供を通じて、生活水準の向上に貢献します。	   	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生可能エネルギー発電事業や環境性能の高い住宅供給を通じた温室効果ガス排出の削減。 ● 耐震性・防火性を備えた自然災害に強い住宅の提供。 ● ステークホルダーへの文化的活動の機会提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境・文化に配慮した建物と空間の提供 ● 地球温暖化への対応 ● 再生可能エネルギーへの取り組み ● 資源の有効活用 ● 災害への対応 	環境方針の策定 CO ₂ 排出量取得・開示 CO ₂ 排出削減目標設定 省エネ等級 (フラット35) の認証率 文化醸成への協賛 ZEHマンション認証取得 CASBEE 認証の取得 メガソーラー発電所の新規稼働発電量 総発電規模 資源・水の有効利用の最大化 BCP 対策のマニュアル策定	戸建100% 5件 1棟 Aランク以上取得1棟 20MW 360MW(2025年3月期)